

第 40 回北海道スポーツ少年団剣道交流大会

申し合わせ事項

1. 大会特別試合規則

(1) 試合の種別及び方法、時間は次のとおりとする。

① 団体試合の場合

(ア) 試合は予選リーグと決勝トーナメントとする。

(イ) 勝敗の決定は予選リーグ、決勝トーナメントともに勝者数法とする。

(ウ) 予選リーグは、1 ブロック 3 または 4 チームとし、勝ちチームは1点、引き分けは 0.5 点、負けは 0 点として、合計点、勝者数、総本数によって順位を決定する。

(エ) 決勝トーナメントは予選リーグ各ブロックの 1 位 8 チームをもって行い、優勝、準優勝、3 位(2チーム)を決定する。なお、決勝の前に 3 位同士による全国大会出場優先順位決定戦を行う(表彰は2チームとも 3 位とする。)

(オ) 試合は原則として 3 分 3 本勝負とし、勝敗が決しない場合は引き分けとする。但し、準決勝以上の試合で時間内に勝敗が決しない場合は、2 分の延長戦を 1 回行い、勝敗が決しない場合は引き分けとするが、チームの勝敗が決定した場合は延長戦を行わない。

(カ) 予選リーグにおいては引き分けの場合でもその都度勝敗を決定せず、そのリーグ戦終了後のブロック 1 チームの決定の際の勝ち点、勝者数、総本数とともに同数の場合、及び決定トーナメントにおける勝者数、総本数ともに同数の場合は代表者戦を行う。なお、リーグ戦において既に 1 チームが決定している場合は引き分けとする。

代表者戦は 3 分 1 本勝負とし、時間内に勝敗が決しない場合は、2 分区切りの延長戦を勝敗が決するまで行う。なお、代表者戦の出場者は、中堅・副将・大将とし、抽選により出場選手を決める(中堅・副将・大将で欠員がある場合には、欠員ポジションを除いて抽選を行う)。

② 個人戦の場合

(ア) 試合は男女別に行い、3 分 3 本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は、2 分区切りの延長戦を勝敗が決するまで行う。なお、リーグ戦において既に 1 位が決定している場合は引き分けとする。

(イ) 予選リーグで勝ち点、勝ち数、総本数ともに同数の場合には、3 人以上であれば 3 本勝負を行い、2 人の時は 1 本勝負で決戦を行う。

(2) 構えは中断の構えとする。

(3) 突き技及び片手技は有効としない。

2. 用具などについて

(1) 竹刀の点検は十分にしておくこと。中結の位置は剣先から全長 1/4 とする。

(2) ポリカーボネード面の使用は認めることとする。

(3) 剣道具の着装はしっかりとすること。即ち、面紐の長さは結び目から 40 cm 以内に切っておき、結び目の位置は物見の高さとしてすること。

小手紐は長く垂れないようにきちんと結び、胴紐(腰紐)の結び方は花(蝶)結びとすること。

(4) サポーター等の使用届は行わない。サポーター等は、医療上必要と認める場合に限りその使用を認める。

但し、見苦しく、且つ相手に危害を加えると審判員が判断した場合、その使用を禁止することもある(足首のサポーターの底にゴムや革を貼ったものは禁止)。

(5) 鐙は所定の位置に固定すること。

(6) 名札は、全日本剣道連盟剣道試合審判細則(下図参照)に準じたものの着けることとし、所属団体名に加えて地域名や道場名などを記したものは認めない。

(下図 全日本剣道連盟試合審判細則第5条、および第4図)

第5条

試合者の名札は、第4図のとおりとし、中央の垂れに着ける。

第4図 試合者の名札

